

一年を振り返って

一年を振り返って

昨年的一年間、私は「人権機関有田川」という組織に入れていただき、日本に住んでおおよそ20年、今まで自分の権利、あるいはみんなの権利をどのように、誰に、守られてきたのか、人権組織は日ごろ何をし、どんな活動で私たちの人権意識を喚起し、高めてきたのか、私はあまり知りませんでした。

しかし、この一年間の勉強を通して、自分の権利は沢山の人の地道な努力で守られてきたのだと痛感しました。

ここで「人権機関有田川」という組織が昨年度どのような行事をしたか今一度振り返ってみようと思います。

本会は、定期総会の事業計画に基づき、毎月一回開かれる例会で活動を決め、役割を分担して活動を実行してきました。

先ず、立木早絵さんの「さらなる

一歩を踏み出そう」と、気象予報士の正木 明さんの「震災・人権・そして未来へ」の2回の講演を実施しました。早絵さんの講演で大勢の方の反響は「沢山の勇気を貰いました」「自分を信じて他人を愛する」でした。

正木さんは、みなさんに「自分の身は自分が守る」「地域は地域のみんで守る」というメッセージを伝えました。

また、3回の映画会も実施しました。「1枚のハガキ」「武士の家計簿」「ラストゲーム」。偶然かもしれませんが、3つの内の2作が戦争について

の映画でした。アンケートでたくさんの方が「戦争は絶対にいけない」「戦争は大反対です なぜならば若者の命と希望をすべて失ってしまうからです」という感想を寄せました。不安定な国際情勢の今日、このような映画が私たちにそう考え

させたに違いないと思いました。

「笑・笑顔」をテーマにした標語の募集をし、小学生、中学生、一般の方の応募をいただき、すてきな作品ばかりで、選考が大変でした。この標語を通して笑顔は明るい未来を開いてくれる・笑顔は人と人の心を通い合わせるものだとして再認識できたのではないかと思います。

私は人権組織がこのような活動と努力で人権の意識を高め、町民の基本的権利を守られるようにしてきたのだと実感しました。

しかし、悲しいことに昨年、国内外ともに人権侵害の事例があり、暴力を受けて自殺した高校生。一部のスポーツ協会に体罰の問題もいまだに存在しています。海外では、女性も教育を受けたいと主張しただけで命を危険にさらされた子供がいました。また、戦争、言論の自由の侵害・家庭内暴力・幼い子供の権利等、世界をみれば人権はまだまともいのです。



人権は他人事でもないし、他人だけに守られるものでもない、人権を守るためにわれわれ一人ひとりの努力は大事だと改めて認識しました。

今 北 純 子

全国一斉

「子どもの人権110番」

いじめ、体罰、登校拒否、子どもの虐待など、子どもの虐待にかかわるすべての問題について法務局、地方事務局の職員または、人権擁護委員が電話相談に応じます。



○期間 6月24日～6月30日

○時間 月曜日～金曜日

午前8時30分～午後7時15分

土曜日・日曜日

午前10時～午後17時

電話 0120(007)1100

734(425)2704

※相談は無料で、秘密は厳守されます。

人権に関するお問い合わせ

金屋庁舎 社会教育課

TEL 52-2111
FAX 32-4827